

第 12 次福岡県職業能力開発計画における目指す姿と成果指標(案)について

<目指す姿>

労働力人口が減少する中、多様な人材の活躍による「労働力の最大化」と、個々の能力を高める「労働の質の向上」を推進することで、人材の育成と産業の活性化を図り、本県の経済成長につなげる。

- ・多様な人材の活躍による労働力の最大化

若者、女性、高齢者、障がいのある方、外国人など、働く意欲のある誰もが活躍できる環境を整え、産業や県民生活を支える人材を確保する。

- ・人材育成による労働の質の向上

一人ひとりの能力を最大限に引き出すことで、労働者の自己実現や処遇向上を図るとともに、労働生産性の向上につなげる。

<成果指標(案)>

指標	11 次計画		12 次計画	備考
	目標	現状	目標	
①就業率（15～69 歳）	—	74.1% (R4)	現状を上回る (R9)	※追加
②高等技術専門校の就職率	91% (毎年度)	88.5% (R6)	91% (毎年度)	
③委託訓練の就職率	81% (毎年度)	78.7% (R6)	81% (毎年度)	
④福岡障害者職業能力開発校の就職率	73% (毎年度)	80.0% (R6)	88% (毎年度)	
⑤委託訓練（障がい者）の就職率	60% (毎年度)	61.4% (R6)	60% (毎年度)	
⑥デジタル人材育成数	3,000 人 (R4～8 累計)	2,700 人 (R4～8 推計)	1,500 人 (R9～13 累計)	
⑦在職者訓練・認定訓練の修了者数	—	—	32,000 人 (R9～13 累計)	※追加
⑧技能検定の受検申請者数	5,300 人 (R8)	4,294 人 (R7)	4,500 人 (毎年度)	
⑨WEB サイト「福岡県の職業訓練」のセッション数	36 万回 (毎年度)	12 万回 (R7)	—	※削除